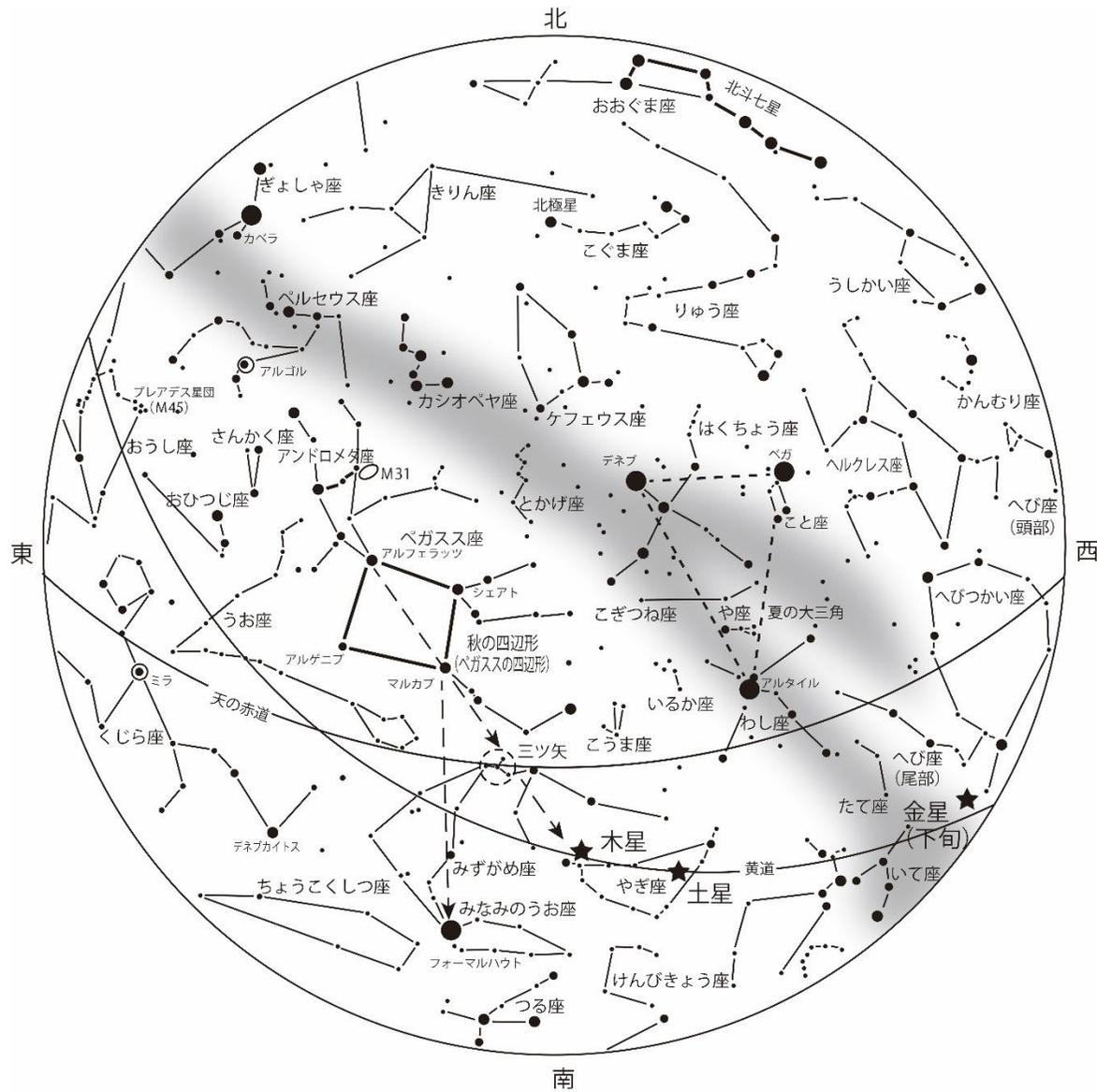


# 令和3年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



秋の星座探しは、頭の真上付近にある、腕を伸ばしたときの握り拳より一回り大きい四角形の星の並び『秋の四辺形』を探す所から始めましょう。秋の四辺形はアルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星からなり、ペガサス座の一部なので『ペガサスの四辺形』とも呼ばれます。このシェアトとマルカブを結んだ線を南に伸ばすと1等星のフォーマルハウトを見付けることができます。フォーマルハウトはアラビア語で「魚の口」という意味です。その名の通り、みなみのうお座の口の位置にあります。秋の四辺形のアルフェラッツとマルカブを結んだ線を南西に伸ばしていくと、アルファベットのYの字のような星の並びを見付けることができます。このYの字のような星の並びが『三ツ矢』と呼ばれるみずがめ座の目印です。三ツ矢はみずがめ座の水瓶の部分にあり、水瓶からみなみのうお座の魚の口に水が流れるように星が並んでいます。アルフェラッツとマルカブを結んだ線をさらに南西に伸ばしていくと、たくさんの星を結んでできる逆三角形をしたやぎ座を見付けることができます。また、今年はやぎ座付近には土星と木星が一際明るく輝いているので、この2つの惑星を目印に探してもいいでしょう。

10月の夜は、『秋の四辺形』をたよりに、秋の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

<見ごろの惑星> (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(1.7等前後): おとめ座付近  
夜明け前、東の低空で輝く。(中旬から下旬)
- ☆金星(-4.3等前後):  
てんびん座→へびつかい座付近  
日の入り後、南西の低空でひととき明るく輝く。
- ☆木星(-2.6等前後): やぎ座付近  
21時頃、南南西の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.5等前後): やぎ座付近  
21時頃、南南西の空で輝く。

## 注目の天文現象 ～3つの惑星に注目しよう～

今月は日の入り後の南から西の空に注目してみましょう。3つの惑星が輝き、目を引くことでしょう。

この3つの惑星は、木星・土星・金星です。木星は-2.6等前後で、土星は0.5等前後で南の空で輝いています。木星と土星は8月に衝(一般的に太陽系の外惑星が地球から見て太陽の反対側にくる瞬間のこと)となり、今月も観望の好期が続いています。金星は-4.3等前後で南西の空で一際明るく輝いています。金星は30日に東方最大離角となります。最大離角とは、内惑星が見かけ上、太陽から最も離れて見えるときのことを言います。一般的には、最大離角の前後では高度が高くなり、観望の好期とされています。今回の東方最大離角時は、残念ながら金星の高度はそこまで高くありませんが、非常に明るいため見つけやすくなっています。10月は南か

ら西の空で輝く、明るさの違う3つの惑星を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
6	水	● 新月 (20:05)	20	水	○ 満月 (23:57)
9	土	細い月と金星が並ぶ	25	月	水星が西方最大離角 (14:30)
13	水	☾ 上弦 (12:25)	29	金	☾ 下弦 (05:05)
18	月	後の月 (十三夜)	30	土	金星が東方最大離角 (05:52)